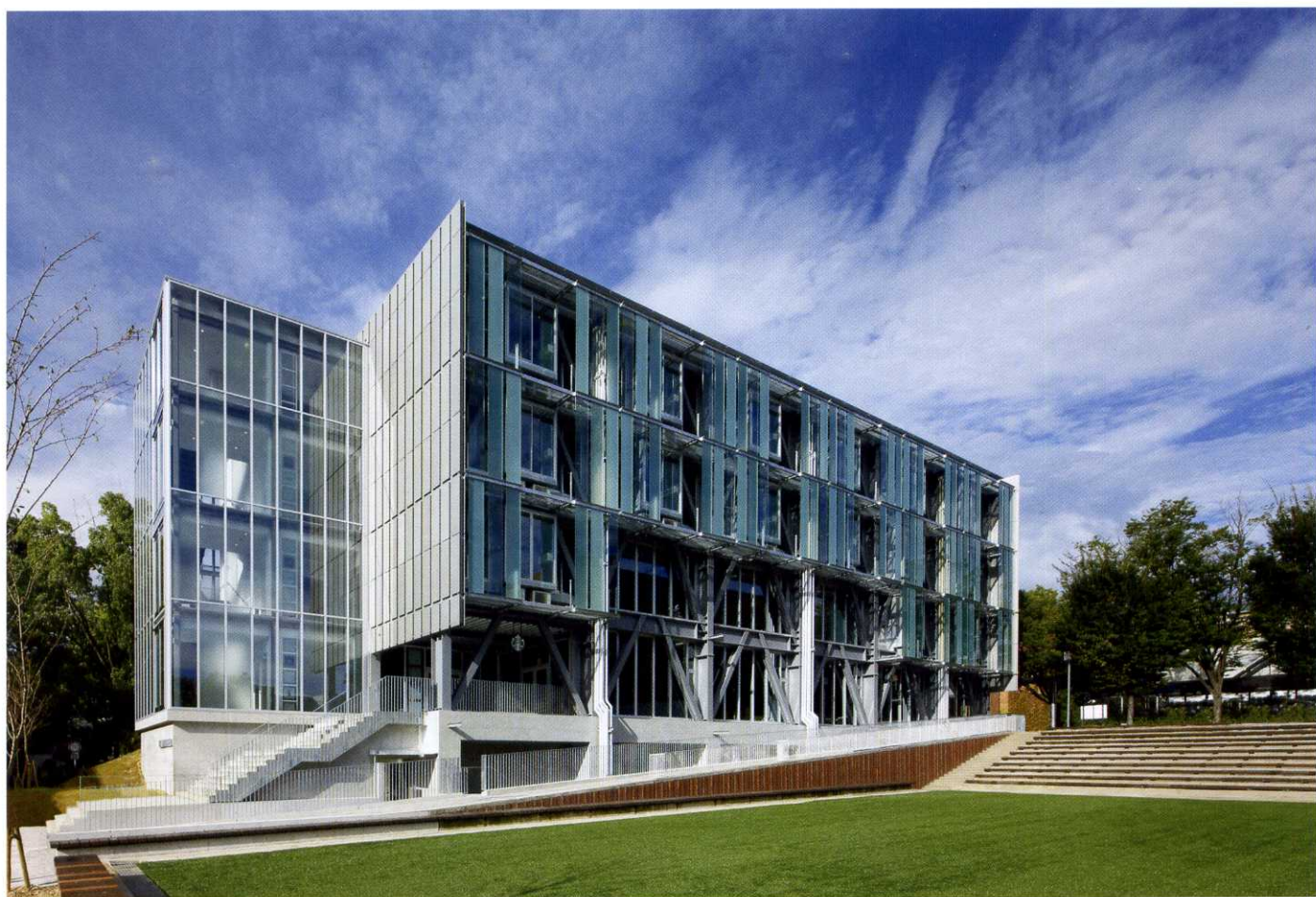


関西大学 イノベーション創生センター



2016・9

ごあいさつ

「Kansai University Center for Innovation and Creativity (KU-CIC)」

－関西大学イノベーション創生センターが、大学創立130周年事業の一環として、ここにめでたく竣工を迎えることができました。

本センターが、関西大学のさらなる飛躍の一翼を担うことを確信いたします。

科学技術創造立国を標榜する我が国におきまして、喫緊の課題として、国際競争力の向上に資する革新的なイノベーションの創出が求められています。関西大学においても、総合大学としての英知を集結し、人文科学・社会科学・自然科学の学問体系の枠を超え、教員・学生のみならず、企業・研究機関の皆様との対話・交流を活性化し、キャンパス内において革新的なイノベーションを“創生”する拠点の必要性を認識し、本センターを建設するに至りました。

本センターは、文理融合プロジェクトの推進、様々な組織に所属する方々による対話・交流プロジェクトを展開し、人と情報の交流拠点としてふさわしい千里山キャンパスの中心部に位置します。既存の教育研究活動と本センターの活動を有機的に連動させ、創造的かつ革新的な研究成果を持続的に社会に発信する“ハブ大学”としての機能を具現化します。また、研究開発支援機能に加え、起業・ベンチャー支援機能も充実させ、研究成果の実用化・事業化を促進するオフィス機能も備えます。

本センターは、地下1階、地上4階建て、3,574.26㎡の延床面積を有し、地下1階は耐荷重2tを有する実験・研究エリア、3・4階は耐荷重1tの実験・研究エリアです。ここには、最新鋭の希少な研究装置類も配置するとともに、企業や研究機関等からなる研究コンソーシアムの形成や、オープンイノベーション型の研究の推進がすでに予定されています。

2階には、ビジネスモデルの構築・応用、学問領域・産学官の枠を超えた対話を行うスペースや、起業準備・ベンチャー企業のオフィススペースを設けております。

1階には、大学初となる、TSUTAYAとスターバックス コーヒーとの連携による書籍の展示スペースを盛り込んだブックカフェを設置しております。ここでは、イノベーション創生センターに入居されている研究者や学生をはじめとした全学の交流・ディスカッションの場となります。また、レセプションスペースも設け、日々様々なプレゼンテーションを行い、自由な発想を共有する交流の場となります。

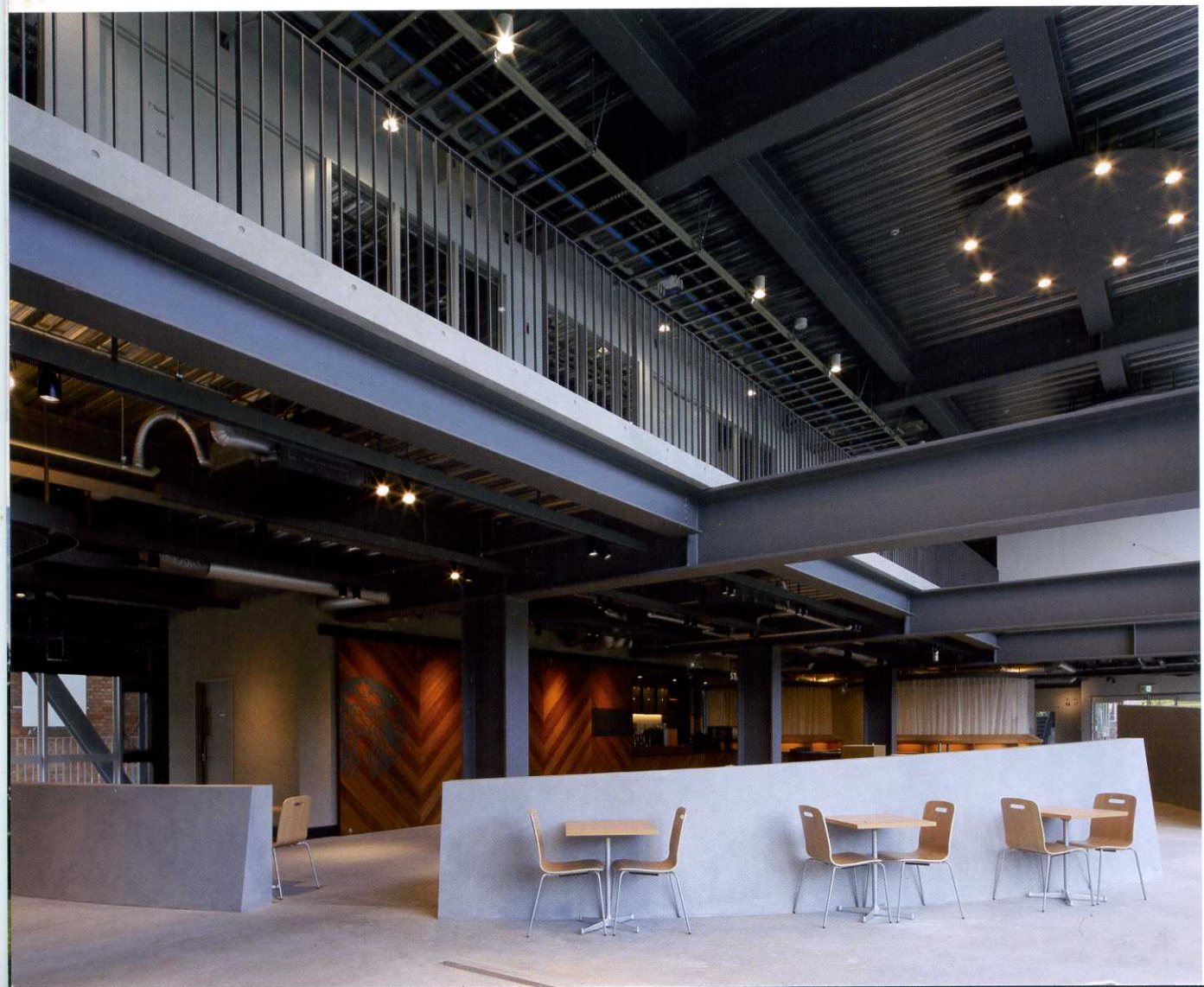
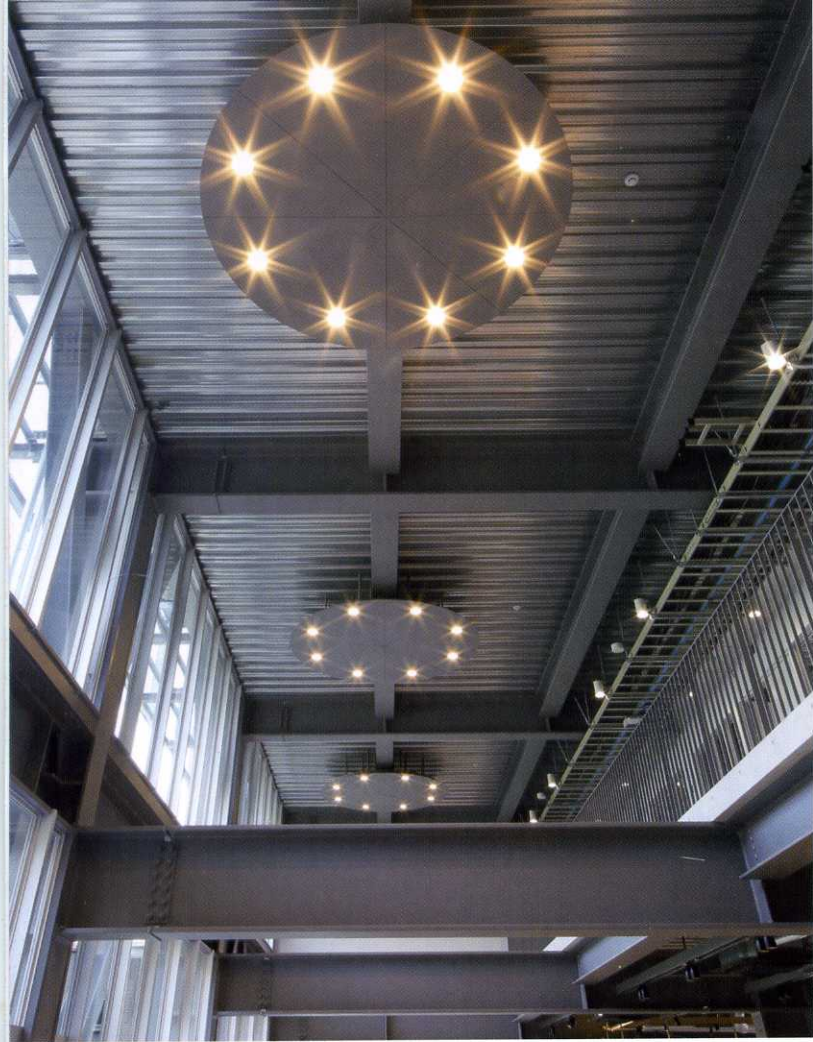
本センターは、外部資金を中心として運営される形態を基本とし、研究者・学生・参画企業等からなる協働環境を作ることで、大学発・学生発の起業・事業化を促し、併せてイノベーション人材の育成に寄与し、異分野協働によるイノベーションが創生されていくことを大いに期待しております。

この度の「関西大学イノベーション創生センター」の竣工にあたりまして、多方面の皆様・団体からのご寄付、関係者みなさまからのご援助とご協力を賜りましたことに、ここに深甚なる感謝の意を表します。本センターがますます発展いたしますことを祈念しつつ、皆さま方からの一層のご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年9月
学校法人 関西大学

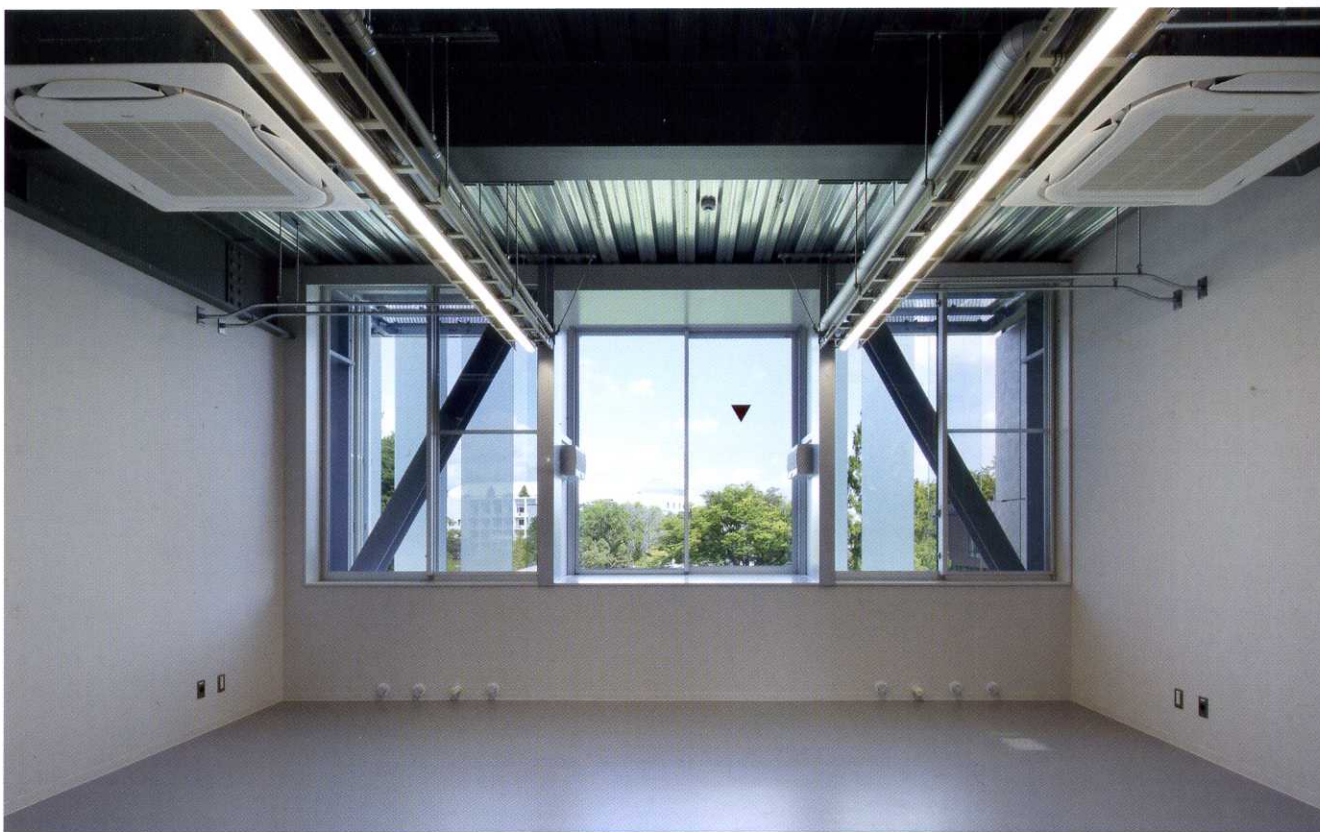






	2F 廊下
1F 吹抜け	T-Space

1F カフェ



2F
部下

吹抜と広場

Space

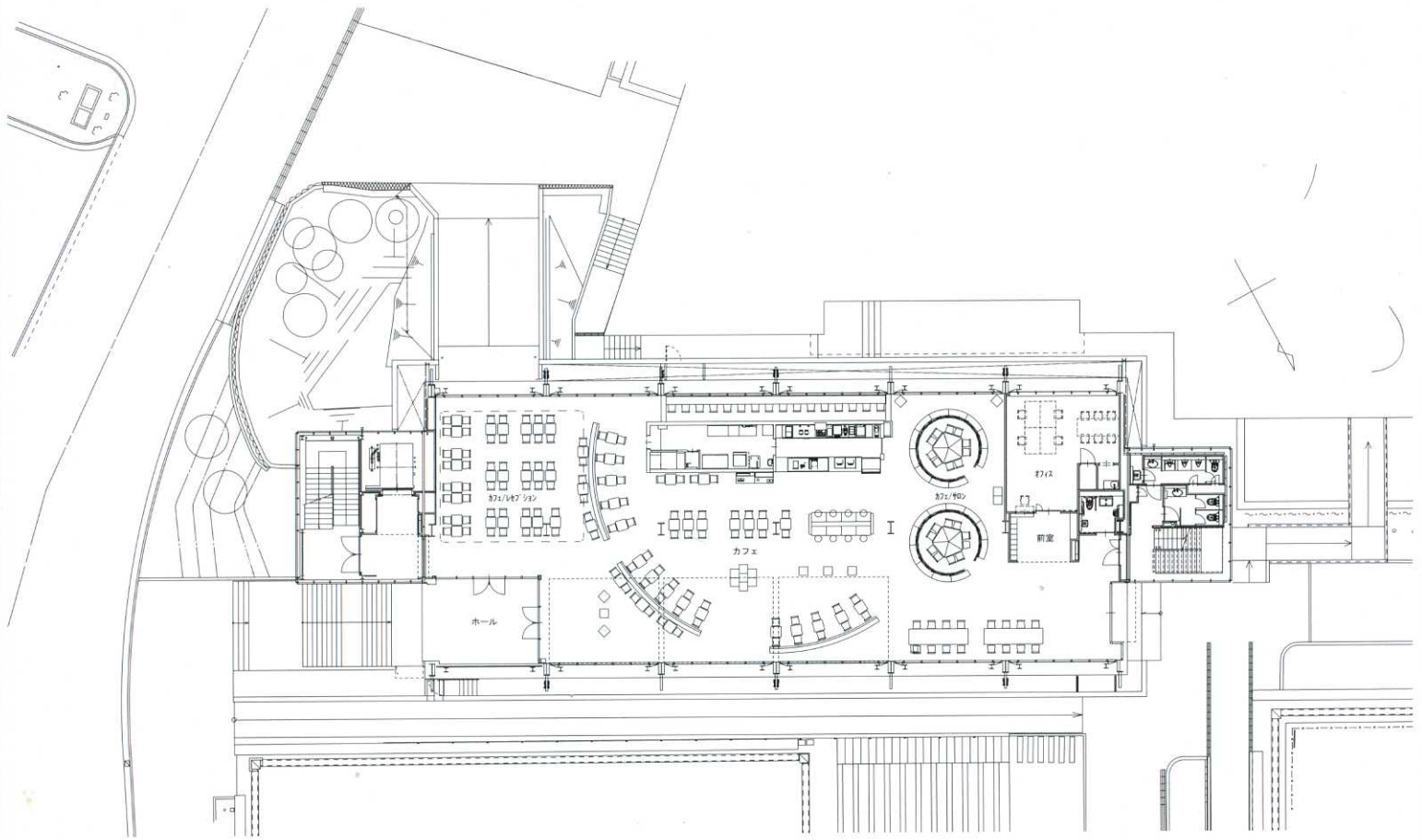
階段室

階段室

カフェ

7E

実験・研究室



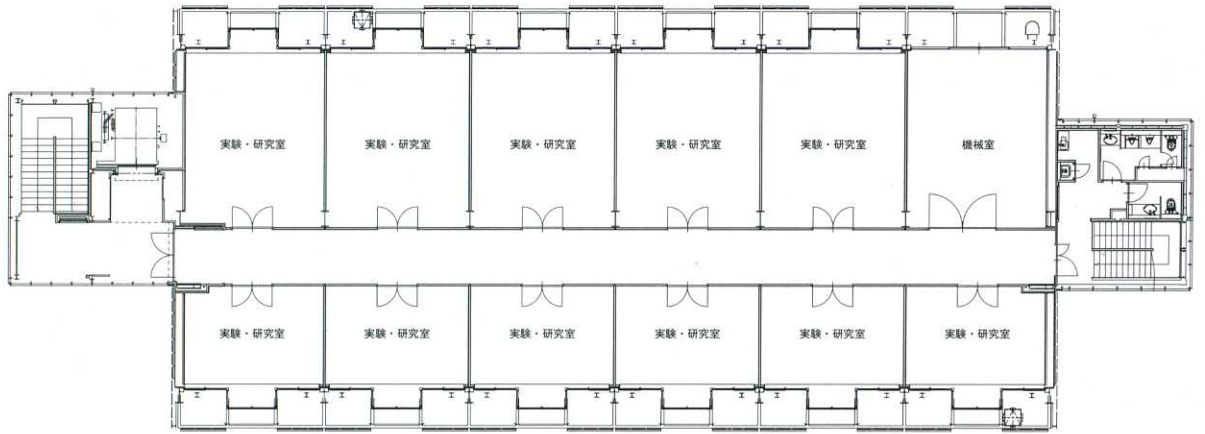
関西大学千里山キャンパスでは、千里丘陵の恵まれた地形を活かした、自然と人が共存する空間環境が1世紀近くに亘り継続されてきました。新しい需要に応え発展しながらもその優れた環境を維持していく為に、キャンパスデザイン会議が発足し運営されています。イノベーション創生センターはその一つの到達点であるとも言えます。キャンパス中央の広場(悠久の庭)と図書館に挟まれた象徴的な場所にあるこの施設は、広場の機能や活気を向上させ、イノベーションを創生する気風が共有され、その研究の精神やアクティビティがキャンパスの日常と融合していくような空間を目指しました。

1階は大きなフラットのコンクリートの床でつくられた、千里山キャンパスの大地を再現した基壇となっています。そこは広場と一体のガラスに囲われたホール空間で、気持ちの良いカフェがあり、時にはイノベーションのレセプションやディスカッションに使われるなど創造性と先進性あふれる場所です。1階ホールと吹抜でつながる2階もコミュニケーションと創造のフロアとしてT-Spaceが配され、それらはガラスの壁にて外界とも開放的につながっています。

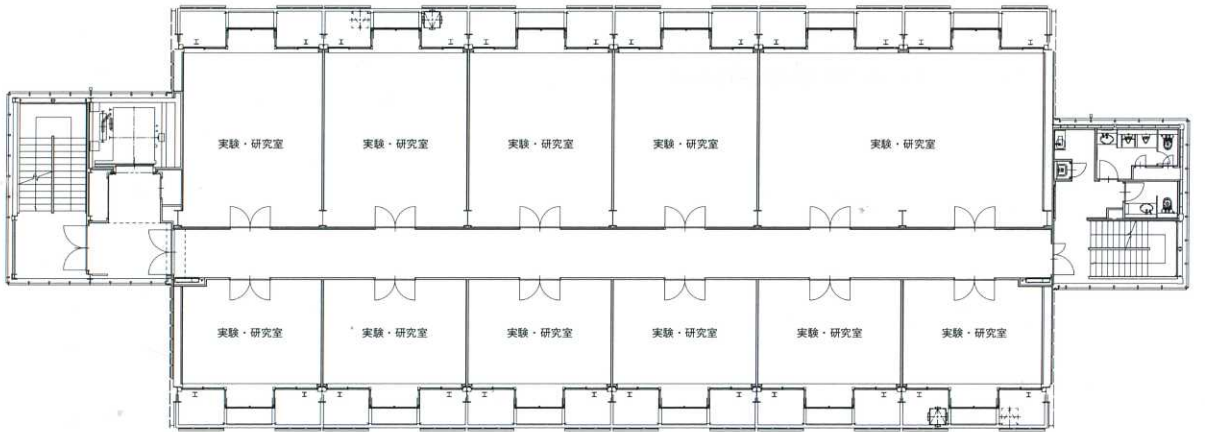
各階は鉄骨造の軽やかな構成で、実験・研究空間は建築のみならず環境や設備類についても徹底した機能と美を追求しました。建築を構成する鉄・コンクリート・デッキプレート・設備や配管等が装飾のない素材そのままの表情として協奏することで、健康な精神の美を表現しました。複層したガラスや庇・ルーバー等により日差しや通風・視線は調整され、外界との優しい環境を保つことが出来ます。千里山に根差した大きな樹木をモチーフとして、構造から設備まで全ての要素を有機的に構成しデザインしています。

また、この建築は“関係”をつくる建築でもあります。各階の空間やEVホール・階段室は様々なガラスのファサードとして構成されることで、並木道や樹林、図書館や円神館などの近景や、様々なキャンパスの豊かな遠景が色々な角度や高さから入り込み内部空間と一体になるようつくられています。いわば“風景をつなぐ窓”としての建築なのです。イノベーションという創造は、日々美しく変化する悠久の自然環境や今ここにある人々の活動という、関西大学千里山キャンパスの大切な資源との交歓が豊かであってこそ生まれていくのでは——という建築からのメッセージでもあります。この空間を通して、これから永年に亘って未来志向に満ちた創造力が研究シーズの社会実装を、さらに推進させることを願っています。

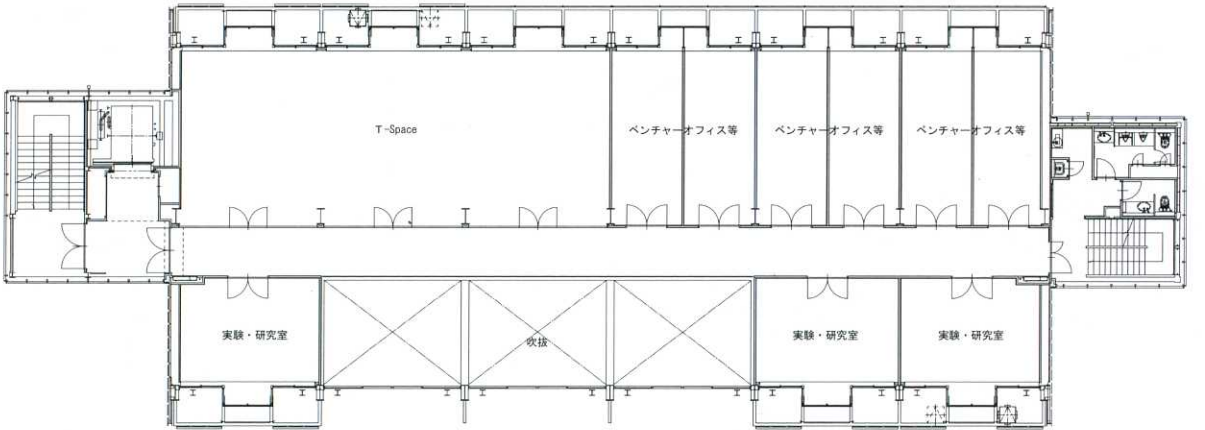
4F



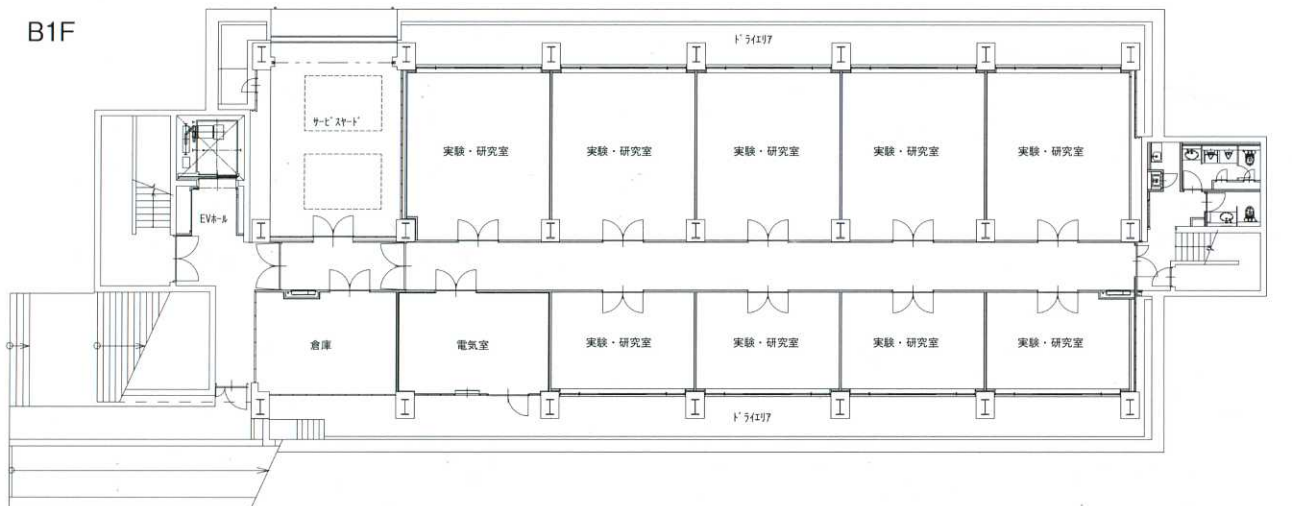
3F



2F



B1F

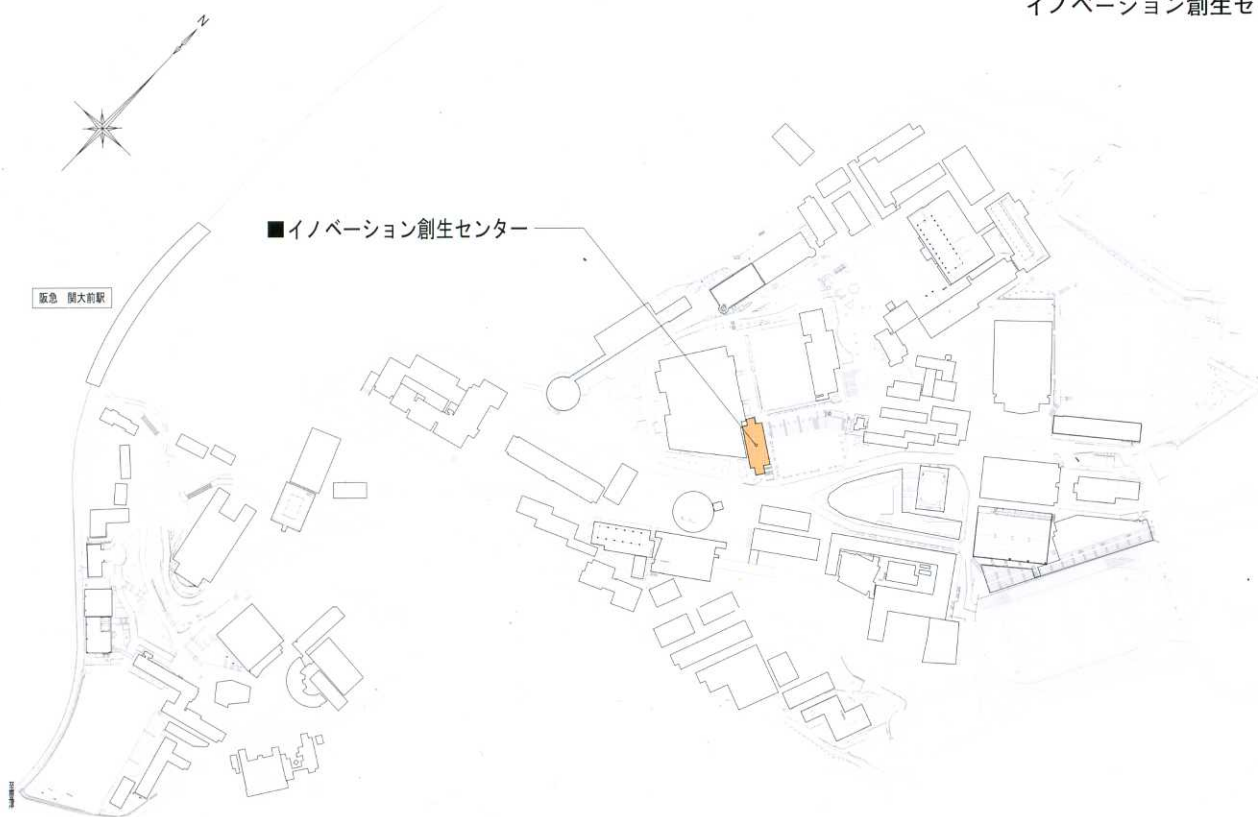


■ 建築概要

名称	関西大学 イノベーション創生センター
所在地	大阪府吹田市千里山東3丁目10番1号
設計	佐藤総合計画・星田逸郎設計共同体
施工	株式会社 竹中工務店
工期	着工 平成27年8月1日 竣工 平成28年9月12日
構造	S造・SRC造 地上4階 地下1階
建築面積	820.41㎡
延面積	3574.26㎡
床面積	4F 766.61㎡ 3F 756.93㎡ 2F 653.31㎡ 1F 698.10㎡ B1F 699.31㎡ 合計 3574.26㎡
外装	外壁 押し出し成形セメント版+アルミカットパネル 屋根 コンクリート直押さえの上、外断熱材厚40保護 コンクリート厚80
内装	開口部 アルミサッシ アルミカーテンウォール 専用部 床/ビニル床シート 一部タイルカーペット 壁/EP塗装 天井/直天 共用部 床/ビニル床シート 1階のみコンクリート表面強化材塗布 壁/EP塗装 天井/直天 カフェエリア 床/コンクリート打ち放しの上、表面強化剤塗布 壁/EP塗装 天井/直天

電気設備	受変電	既存LPTより高圧引込 地階電気室にて受電 変圧器容量900kVA
	配電	三相3線210V 単相3線210-105V
	照明	LED
	弱電	電話・情報 放送 入退室管理 電力計量設備 インターホン
	防災	自火報 誘導灯 非常灯 非常放送
給配水衛生	給水	敷地南側道路の給水管より分岐
	給湯	電気式貯湯温水器によるオストメイト汚物流し用
	排水	敷地南側道路の下水道管に放流
	消火	屋内消火栓、消火器
空調設備	空調	空冷ヒートポンプエアコンによる個別空調
	換気	全熱交換器による第1種換気 トイレ ストレートシロッコファン等による第3種換気
昇降設備	エレベーター	1基 乗用30人乗り 60m/min

イノベーション創生センター 配置図



学校法人 関西大学